



教育目標

「自学、信愛、努力を基本とし、人間らしい生き方を求める生徒を育てる」

# NANBU



学校だより第9号

水見市立南部中学校

令和3年1月15日

## 3学期の始まりに当たって

校長 扇谷 孝代

大雪のためずいぶん遅くなってしまいましたが、1月14日（木）、南部中学校の第3学期がスタートしました。短い期間ではありますが、学校や生徒にとっては1年間のまとめとなる大切な学期です。どの生徒も充実したときを過ごしてほしいと願い、始業式の式辞を述べました。

今日から令和2年度、3学期の授業が始まります。

皆さんは冬休みをどのように過ごしてきましたでしょうか。2学期の終業式で話した「リュックサック」の中身を少しは増やしてきましたか？3学期は短いですが、学校にとって1年のまとめになります。皆さんにとって、より中身の濃いまとめとなるために、今日は、南部中学校の「目指す生徒像」について、改めて考えてみたいと思います。

一つ目は、「自ら学ぶ生徒」です。

人が自ら学ぼうとするとき、多くの場合、何らかの目標が必要です。それは遠い未来の目標であってもよいのですが、あまり遠すぎると何をどうしていいかわからず、結果的に何もしないことにもつながりかねません。先日、職員室である先生が、「身近に、この人だけには負けたくないと思わせる人がいると、体が動く」と言っていました。なるほどと思いました。身近な人物を目標にするというのも一つです。また、近い未来を目標にするのもいいかと思えます。遠くにあるまだぼんやりとした目標に少しでも近付くとしたら…という発想で、とりあえず今できることを考えるのです。例えば「とりあえず毎日走ってみよう」とか、「とりあえず机の前に毎日70分は座ってみよう」とか。

このことは、三つ目の「目指す生徒像」である「粘り強く取り組む生徒」にもつながっていきます。はじめは「よし、頑張ってるぞ。」と思って取り組んだことが習慣になることがあります。そうして身に付いた習慣は、後々何らかの有益をもたらすことが多いものです。

順番があちこちになりましたが、二つ目の「目指す生徒像」は「思いやりの心をもって活動する生徒」です。

このことについては、皆さんにぜひ、相手意識というものを考えてもらいたいと思います。例えば簡単なことと言えば、「返事をする」はどうでしょう。そんなことが思いやりかと言われるかもしれませんが、これだって立派な相手意識です。返事とは、「私は確かに認知しました。」という表明です。相手が何度も名前を呼ばなくてもいいように、不安な気持ちにならないように…と、意味を考えれば、返事の仕方自ずと決まってきます。声が大きければいいと言っているわけではありません。伝え方の問題です。どういった返事をするのが、相手意識をもつということなのでしょう。同じことが「挨拶」や「言葉遣い」、「立ち居振る舞い」等でも言えます。



こうして改めて「目指す生徒像」を眺めてみると、なるほど、中学生として求められている姿が示されているとつくづく感じます。ぜひ、南部中学校の生徒の皆さんには、この機会に自らの今の姿を振り返り、「目指す生徒像」を本気で目指してもらいたいと思います。

この3学期が皆さんにとって、中身の濃いまとめの時期となるよう、決意も新たにスタートしてほしいと願っています。

## 校内書初大会を実施しました

1月14日(木)、全校生徒がアリーナに集まり、書初大会に臨みました。課題は、1年生は「白き雷鳥」、2年生は「将来の夢」、3年生は「前途有望」です。各学年代表が富山県小・中・高校生書初大会に参加します。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一堂に会しての席上揮毫と推選作品の展示は行いません。代表生徒は校内で揮毫し、作品を提出して審査を受けることとなります。



## 新型コロナウイルス感染症対策について、養護教諭が講話しました

富山県では新型コロナウイルスの感染拡大を受け、13日から「ステージ2」に移行しました。市中感染の拡大もみられることから、感染する危険がこれまでより高くなったと言えます。学校は、集団で過ごす時間が長いので、感染が拡大しやすい環境です。一人一人がウイルスをもらわない、うつさないという心がけが大切になります。

そこで、次のことを確認してください。

- ①マスクを正しく着用する。(できるだけ隙間を作らないように顔に密着させ、鼻は出さない。)
- ②運動のときなどマスクを外す必要がある場面では、会話を控えたり距離をとったりする。
- ③手洗いやアルコール消毒をこまめに行う。(水だけではウイルスはほとんど落ちない。)
- ④給食後の歯磨きは、距離をとって無言で行う。
- ⑤登校前に検温するなど、自分で体調管理をする。熱があるときや感染が疑われる症状があるときは、無理をせず自宅で休養する。また、睡眠をしっかりとったり朝食を食べたりして生活習慣を整え、免疫力を高める。

現在は市中感染が拡大していることから、すでに、友達も先生もそれぞれの家族も、いつ、誰が感染してもおかしくない状況です。そのため、今後、南部中学校で感染者が確認されることがあるかもしれません。そのときは、感染した人を決して責めないでください。自分や他の人が無症状で、知らないうちにその人にうつってしまったのかもしれないかもしれません。感染してしまった人の気持ちを考えること、自分にも起こるかもしれないことであると考えて、落ち着いて行動することを大切にしてほしいと思います。

皆が安心して学校で過ごすために、自分がどのように行動をとればよいか、一人一人がよく考えて過ごし、充実した3学期にしてほしいと思います。

## 特集 私たちにも中学時代がありました その1

南部中学校では、将来就きたい職業の一つに教員を挙げる生徒が幾人かいます。そんな生徒を見てみると、「どんな先生になるのかな」と楽しみになります。そこで、ふと思いました。

**現在教員となっている先生方にも、中学時代はあったはず。どんな中学生だったんだろう？**

そこで、南部中学校の先生方に、「中学校時代の思い出」を尋ねてみました。いくつか紹介します。どの先生のエピソードか、想像してみてください。

- 毎日のように顧問の先生から放送で呼び出されたこと、答案に名前を書き忘れて0点になったこと、体育の時間何度も何度も長距離走をしたこと、ささいなことで友達とけんかしたこと・・・いろいろなことがありましたが、充実した中学校生活でした。それは、学校生活、行事、部活動に本気で取り組んだからかなと思っています。
- 小さい学校で、数学の先生が家庭科を教えてくださいました。好きなものを作ってよいと言われ、ルーから作るカレーライスにしました。味見をせずに担任の、怖い体育の先生に提供したところ、黙々と食べ一言「うまかったぞ。」と。怖い先生にそう言われたので、ほっとしながら実食しました。すると、ルーの香りはするのですが、ただ辛いだけのカレーでみんなびっくりしました。カレーの香辛料は入れたのですが、塩等の調味料を入れるのを忘れていたので。何とか食べきろうとしましたが無理でした。塩気の大切さを痛感したと同時に、全くおいしくないカレーを完食してくださった担任の先生の「心の広さ」に敬服しました。
- 修学旅行中、寝ぼけて部屋の外に出てしまったので戻ろうとしたところ、オートロックで入れなくなっていました。